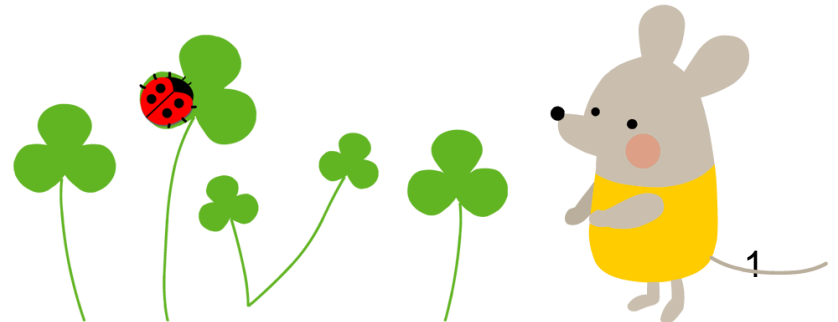


結核を知ろう！

～違いに気づき、早期発見できるのはあなたです～

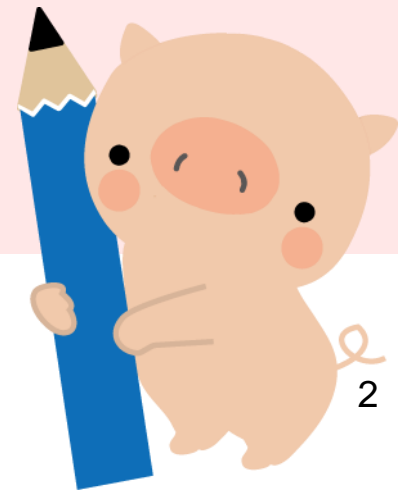
瀬戸保健所 健康支援課

地域保健グループ



今日のおはなし

- ① 結核は昔の病気？
- ② 結核はどんな病気？
- ③ 高齢者の結核を知ろう
- ④ 利用者の健康を守るために
- ⑤ よくある事例





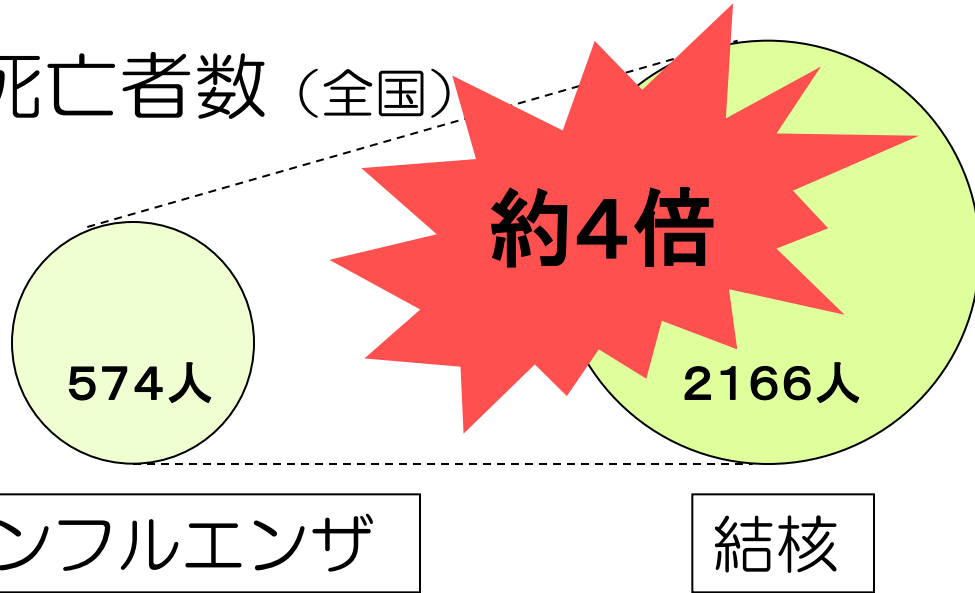
① 結核は昔の病気？



結核は昔の病気？

結核は昔に比べて減ってきています。しかし…

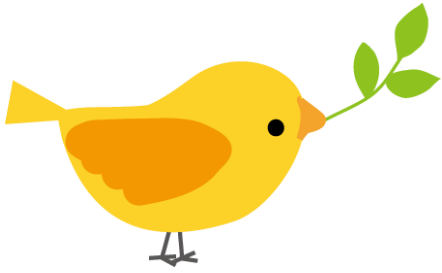
○死亡者数（全国）



今でもわが国
最大の感染症
です

○瀬戸保健所での結核発症数は、県内で**1番**多い

瀬戸保健所
管内は、結核の
多い地域です



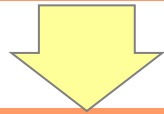
② 結核はどんな病気？



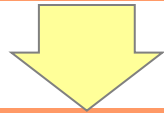
結核って？

結核菌が主に肺の中で増えて起こる病気

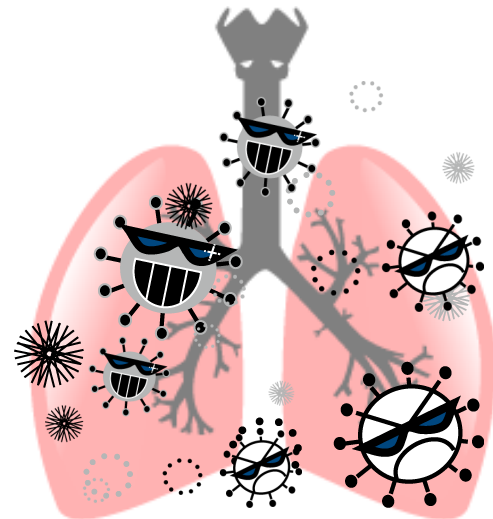
咳や痰、発熱などの症状から始まる



病気が進行すると人にうつす



ひどくなると命に関わる



結核は体のどこにでも起こります

結核性髄膜炎

約80%

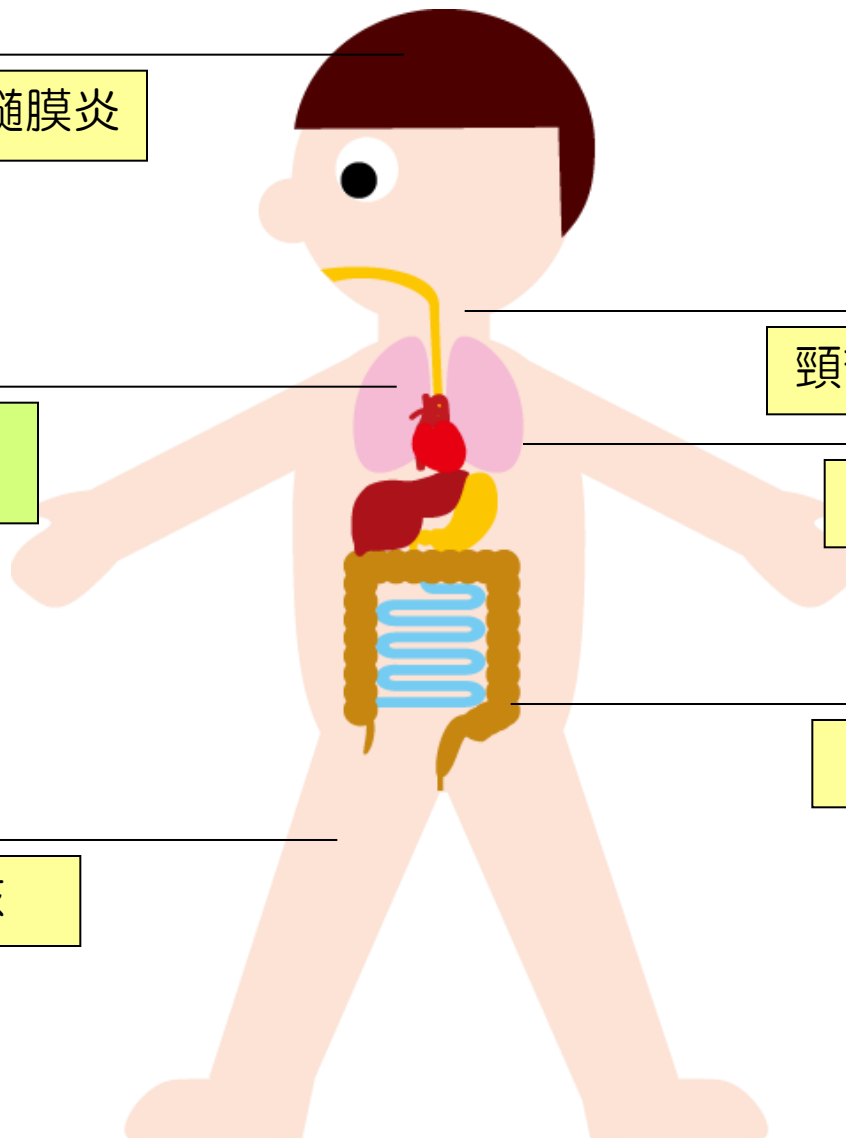
肺結核

頸部リンパ節結核

結核性胸膜炎

腸結核

皮膚結核



どうやって感染するの？

水分を失い軽くなる
(その大きさは数ミクロン)

全員が感染
するわけでは
ありません

咳

飛沫核
(数ミクロンの大きさ)

鼻やのどで
消えてしまえば
感染しない

結核菌

粘液の水分

空洞

肺

空気中にたまたま結核菌を吸い込むことで感染
(空気感染)

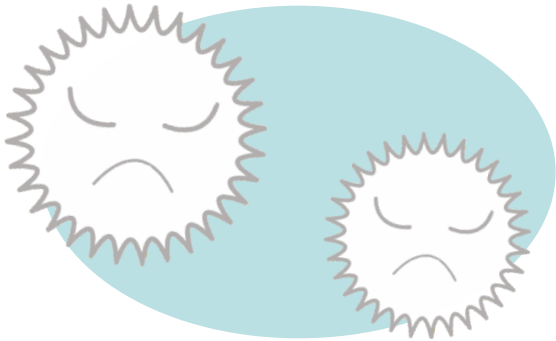
患者

周囲の人

感染って？ 発病って？

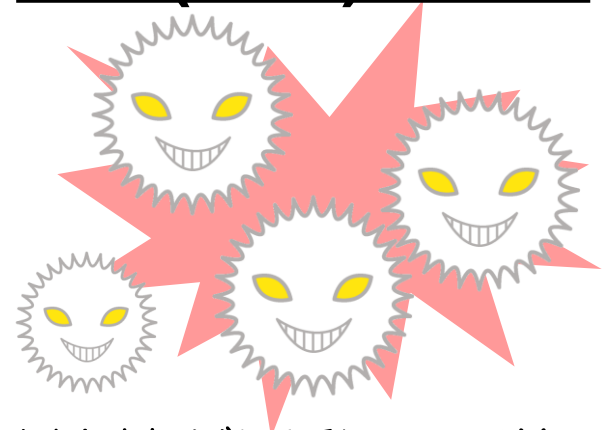
感染

結核菌がうつる



発病

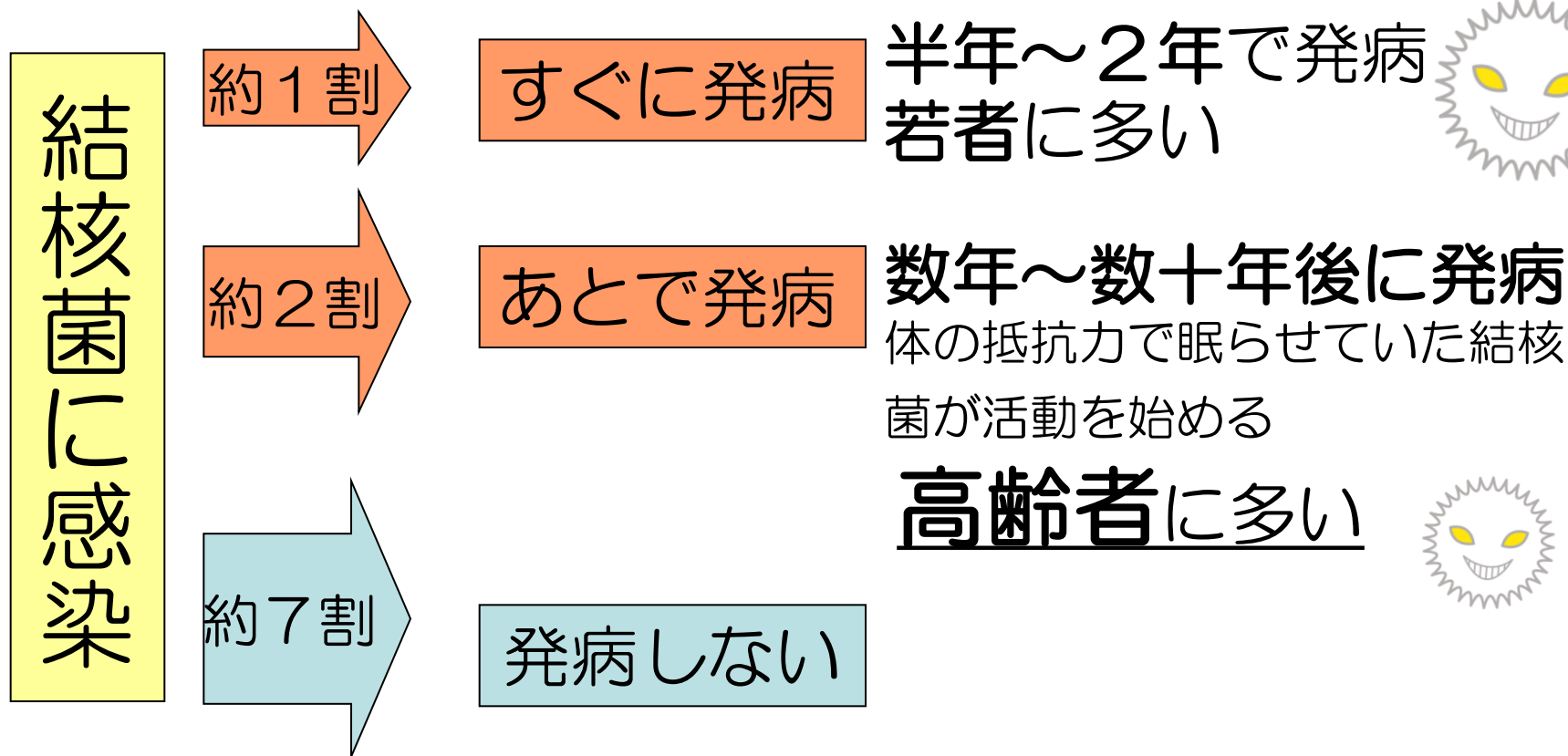
結核(病気)になる



結核菌が活動し、増える

「感染」はうつること、「発病」は病気になること
感染と発病は違います

感染するとみんな発病するの？



必ず発病するわけではありません

③ 高齢者の結核を知ろう



高齢者は多くの方が すでに結核菌に感染しています

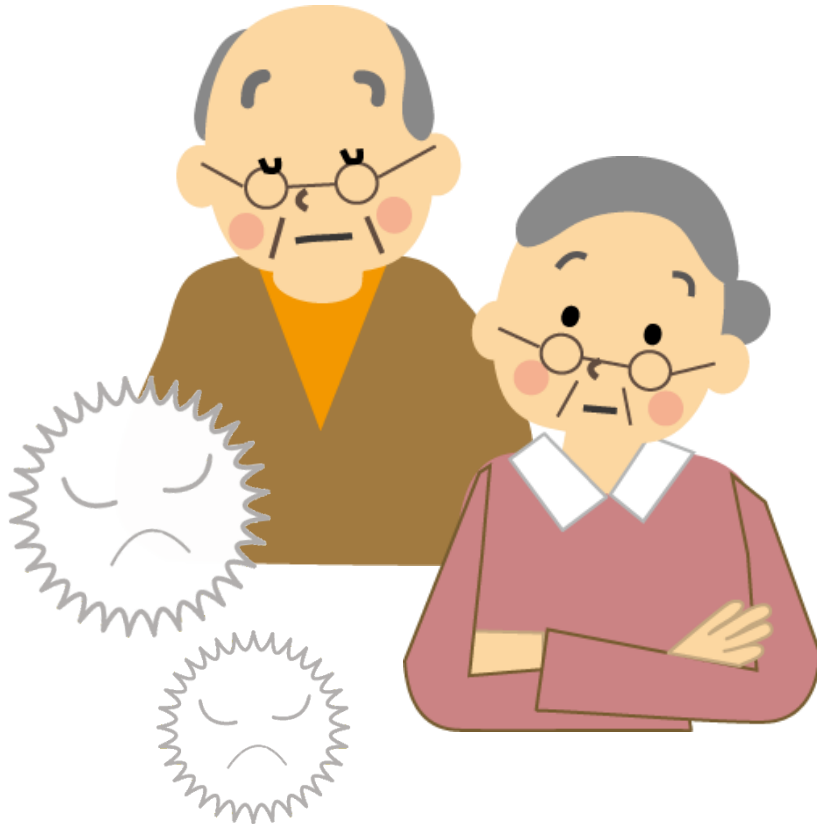
すでに結核菌に
感染している割合の推計
(2010年)

65歳	35.9%
75歳	61.0%
85歳	80.7%



結核を発病する人の多くは 高齢者です

すでに結核菌に
感染している人たち

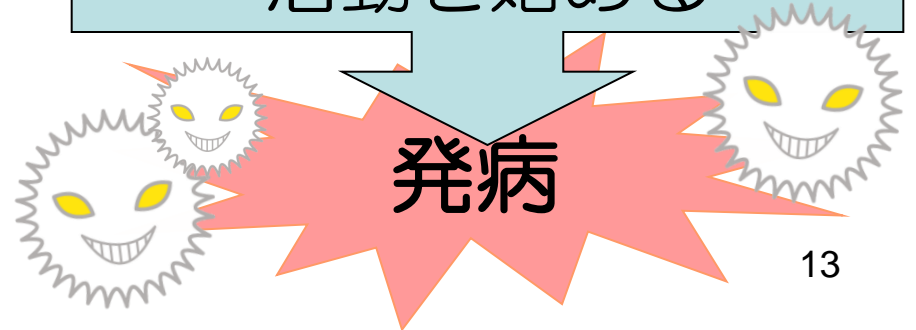


高齢になる

体力の衰えや、
他の病気などによって
抵抗力が落ちる

結核菌が
活動を始める

発病



結核発病のリスク

11.9倍

ステロイドの
長期使用

30倍

じん肺

2~3.6倍

糖尿病

10~15倍

人工透析

5倍

胃切除

2.3倍

喫煙

16倍

がん

体の抵抗力を下げないことが 大切です



結核の発病リスクが
ないか
確認しましょう。

あった場合、
主治医の指示に従い、
受診や治療の支援を
しましょう。

高齢者の結核の特徴

結核の症状

咳、痰、発熱、だるい

しかし…

高齢者の症状

食欲がない、体重減少、全身衰弱など

(結核によくある症状が出ないことがある)



高齢者施設での結核



利用者は発病する可能性がある



高齢者は症状がでにくい

結核と気付かず、
病気が進行し、周りにうつすことも…

職員に感染する危険性があります

特別養護老人ホームでの結核感染事例

H20.11月頃から、入所者の体調優れず。
H21.2月に受診し、結核の発病がわかる。

